

# 次世代特許AIエージェントの比較と活用戦略：Patsnap vs TokkyoAI

## 従来型生成AI (Traditional AI)



工程の支援：人間が指示した部分的な作業を代行

AIの役割が「高度なアシスタント」から「調査員・アナリスト」へ変化。自律性が最大の特徴

## AIエージェント型 (AI Agent Type)



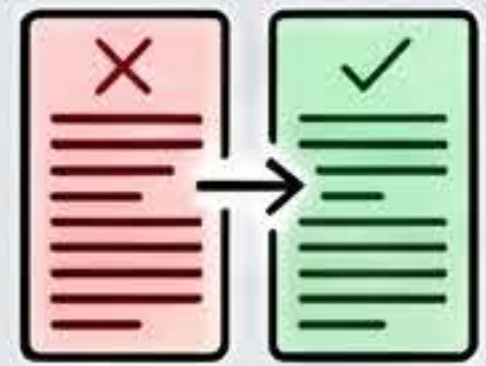
目的 計画 調査 比較 レポート  
目的の進行：目的から逆算し、ワークフローを自律的に組み立てる

## Patsnap：グローバル・インテリジェンスの覇者



### 世界基準の新規性調査とFTO（侵害予防）

グローバルな特許・非特許文献を網羅し、多段階セマンティック検索とRAG/RAT技術により、根拠付き構造化レポートを生成



### クリームマッピングの自動化

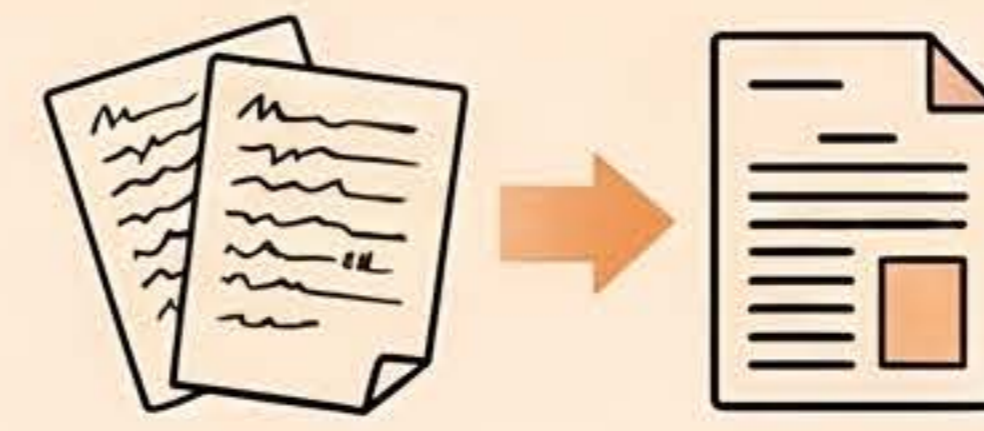
製品特徴と他社特許請求項を自動動対応付け、文言侵害や均等論のリスクを分類したFTOレポートを迅速に作成



### 海外出願に最適化されたドラフト生成

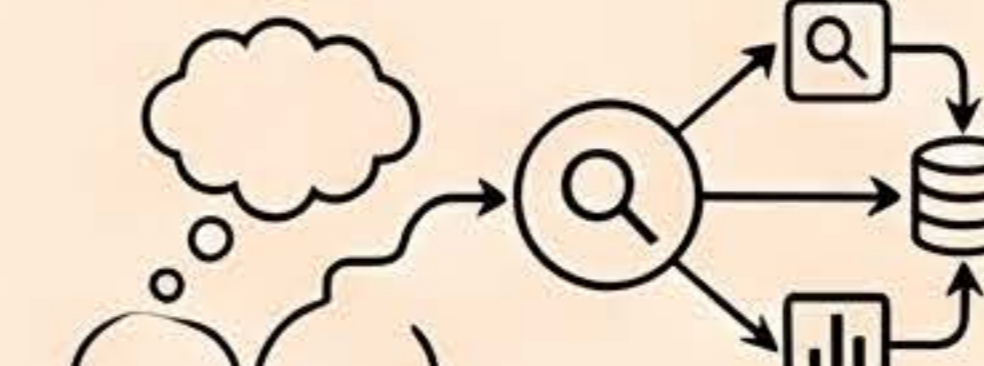
USPTOやCNIPAなど、各国の特許庁が求める様式に合わせた明細書案やクレーム案を、技術特徴から直接生成可能

## TokkyoAI：社内発明の掘り起こしと可視化



### 研究メモを「発明提案書」へ即座に変換

未整理の研究メモや現場課題を入力するだけで、AIが技術課題・解決手段・効果を整理し、知財部や弁理士が検討可能な提案書を作成



### 「Deep Research」による思考プロセスの可視化

単に結果を出すだけでなく、AIがどのような検索式を立て、どのような観点で分析したかの「思考過程」を提示

自然文検索による

### 自然文検索による「知財の民主化」

複雑な検索式が不要で、現場技術者や若手担当者でも自然な日本語で類似特許を探索し、競合との差異を整理できる

## 実務における最強の使い分けモデル



「内」から掘り起こし、「外」を検証する二段階：開発初期はTokkyoAIで社内発明を抽出し、重要案件が固まった段階でPatsnapで世界規模の新規性・FTO調査を行う流れが最も効率的

	Patsnap (Eureka AI)	TokkyoAI (MyTokkyo.AI)
主な強み	グローバル新規性・FTO調査、精密なクレーム比較	日本語研究メモからの発明抽出、提案書作成支援
得意なデータ	世界の特許、学術論文、技術文献	日本語の社内技術資料、研究メモ、現場課題
主なユーザー	大企業知財部、海外事業部、R&D戦略	技術者、知財担当者、中小・スタートアップ、弁理士
出力成果物	引用付き新規性レポート、FTO報告書、海外ドラフト	発明提案書、出願検討資料、社内説明用スライド
技術的特徴	PatsnapGPT、RAG/RAT、グローバルデータ接地	自然文視覚検索、Deep Research、プロセス可視化